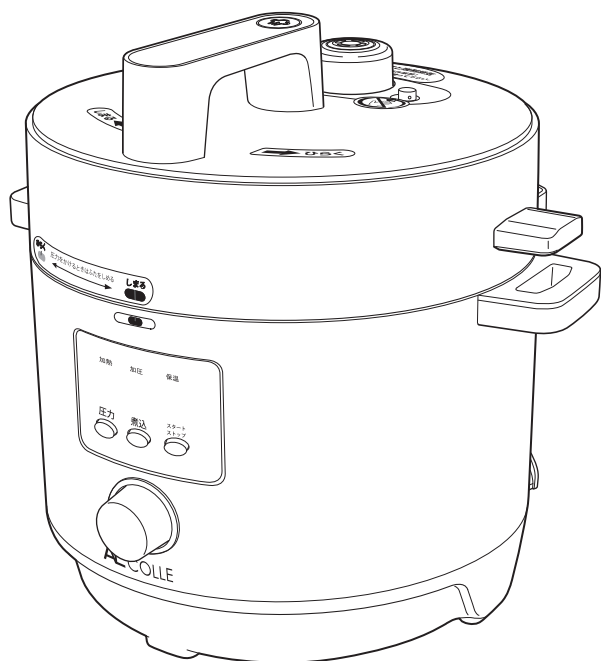


電気圧力鍋 APC-T120

取扱説明書【保証書付】

このたびは、電気圧力鍋をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
正しくご使用いただくために、ご使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読みください。
なお、この取扱説明書には保証書が付いています。
お読みになられたあとも、大切に保管してください。



目次

安全上のご注意	1 ~ 3
使用上のお願い	3
仕様	4
各部のなまえ	5 ~ 6
正しい使いかた	7 ~ 18
圧力モード	7 ~ 14
煮込モード	15 ~ 18
お手入れのしかた	19 ~ 25
故障かな?と思ったら	26
アフターサービスについて	27
別売品について	28

ご使用前に本書を必ずお読みください。

※ご使用前に付属品・部品などが揃っているかご確認をお願いいたします。本製品は、厳重な品質管理と検査をして出荷しておりますが、万一欠損・欠落等ございましたらご購入後1か月以内に、お買い上げの販売店または裏表紙に記載の「お客さまサービス窓口・修理受付」までお問い合わせ頂けますようお願いいたします。速やかに無償で送付させていただきます。

安全上のご注意

- * ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- * ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる方や他の人への危害や損害を未然に防止するためのものです。また注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。



警告

誤った取扱いをしたときに、死亡または重傷を負う可能性があるもの。



注意

誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負ったり、物的損害の可能性のあるもの。

絵表示と絵表示の意味



⊘ 記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



● 記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

※お読みになられたあとは、お使いになる方がいつも見られるところに必ず保管してください。

圧力鍋は加熱されると内部が高温・高圧になり危険です。
取り扱いを誤ると、けがややけどなどの傷害を負うことがありますので、
以下の注意事項をよくお守りください。

警告



指示

●電源プラグにホコリが付着している場合はふきとる。
ホコリが付着したまま電源プラグを差し込むと、ショート・火災の原因になります。



指示

●定格15A以上のコンセントを単独で使う。また、延長コードを使用しない。
他の器具と併用すると、分岐コンセント部が異常発熱し、発火することがあります。



禁止

●交流100V以外では使用しない。
火災・感電の原因になります。



危険!



指示

●電源プラグはコンセントの奥までしっかり差し込む。
ショート・感電・発火・発煙の原因になります。



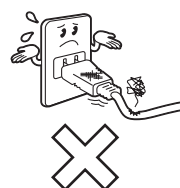
分解禁止

●改造・分解しない。また、修理技術者以外の人は修理しない。
けが・火災・感電の原因になります。修理はお買い上げの販売店または、アルファックス・コイズミ株式会社「お客様サービス窓口・修理受付」にご相談ください。



禁止

●電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。
ショート・感電・発火の原因になります。



⚠ 警告



禁止

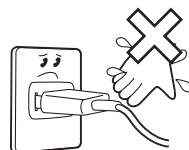
●電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたり、重いものをのせたり、挟み込んだり、高温部に近づけたりしない。

火災・感電の原因になります。



ぬれ手禁止

●ぬれた手で、電源プラグを抜き差ししない。スイッチを押さない。けが・感電の原因になります。



禁止

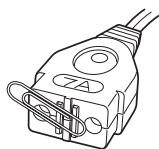
●子供や介護の必要な方だけでは使わない。けが・感電の原因になります。



禁止

●器具用プラグ（磁石式）の先端にクリップや金属質のものを付着させない。

ショート・感電・発火の原因になります。



禁止

●本体を水につけたり、水をかけたりしない。ショート・感電の原因になります。



禁止

●不安定な場所や熱に弱い敷物の上では使わない。

火災の原因になります。



禁止

●食器洗浄器、食器乾燥機は使用しない。

火災・故障の原因になります。



禁止

●加熱中は無理にふたを開けない。

けが・やけどの原因になります。



禁止

●レトルトパックやアルミパックなどをに入れて調理しない。

火災・故障の原因になります。



禁止

●重曹や多量の油など急激に熱反応して発泡するものは使用しない。

火災・故障の原因になります。



禁止

●浮き圧力弁や安全弁おもりに顔や手を近づけない。

やけどの原因になります。

特に乳幼児は近づけさせないように注意してください。



禁止

●カレーやシチューなど粘りけの強いものを入れて加圧調理しない。

粘りけの多い内容物で安全弁や浮き圧力弁部分をふさいで安全装置が働かなくなり、圧力調整ができなくなる可能性があります。危険です。



禁止

●器具用プラグをなめさせない。

けが・感電の原因になります。

特に乳幼児が誤ってなめないように注意してください。



指示

●蒸気を排出してからふたを開ける。

蒸気排出時には、やけどをしないように十分注意してください。

蒸気が排出しきっていないうちに無理にふたを開けると高温の内容物が噴き出し、やけどをする恐れがあります。



禁止

●調理容量を超えて調理しない。

材料が噴き出し、けが・やけどの原因になります。特に豆類・麺類の調理をする際は、豆類MAX線を超えて調理しないでください。

安全上のご注意

⚠ 注意



●電源プラグを抜くときは電源コードをもち、必ず電源プラグをもって引き抜く。ショート・感電の原因になることがあります。



●専用コード以外は使わない。故障・発火の原因になります。



●火気や湿気のあるところ、直射日光の当たる所で使わない。故障・変形の原因になります。



プラグを抜く

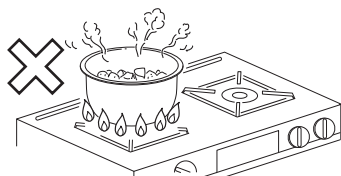
●使用時以外は、電源プラグをコンセントから抜いておく。けが・やけど、絶縁劣化による漏電火災・感電の原因になることがあります。



●壁や家具の近くで使用しない。壁や家具を傷め、変形・変色の原因になります。



●内がまを直火にかけたり、電子レンジやIH調理器具など他の熱源で使用しない。変形・破損の原因になります。



●調理する際は、排気弁カバーをつける。調理物が排気弁に詰まり、故障の原因になります。



●調理以外に使用しない。故障の原因になります。



●持ち運ぶ際は本体の取っ手を両手で持ち、ふたのハンドルは使用しない。けが・やけどの原因になります。

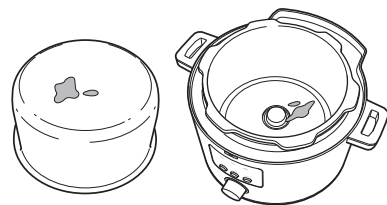
使用上のお願い

■ごはんつぶなど異物をつけたまま使わない。

■空だきや過剰な加熱をしない。

■別の調理なべなどを入れて使わない。

故障の原因になります。



■調味液、調味料は合わせてよく溶かしてから入れる。

生煮えになるなど、うまく調理ができない原因になります。

■内がまで米を洗わない。強い衝撃を与えない。

セラミックコーティングを傷める原因になります。

内がまが変形すると、ふたが閉まらなくなったり、蒸気漏れなどの原因になります。新しい内がまをお買い求めください。(28ページ参照)

仕様

電源	AC100V 50/60Hz
消費電力	600W
外形寸法	約276(幅)×260(奥行)×255(高さ) mm
質量	約2.6kg(付属品を含まず)
調理容量	調理MAX(1.2ℓ) 豆類MAX(0.6ℓ)
呼び容量	約2.0ℓ
コード長	約1.5m(マグネット式プラグ)
使用最高圧力	70kPa
温度ヒューズ	216℃
生産国	中国
付属品	計量カップ、しゃもじ、蒸気水受け、安全弁おもり(ふたにセット済み)、電源コード、レシピブック(2種)

- この商品は、日本国内用に設計・販売しています。電源電圧や周波数の異なる国では、使用できません。海外での修理や部品販売などのアフターサービスも対象外となります。

この製品はS-JQAマーク・SGマークを取得しています。



S-JQA マーク

電気用品安全法を補完し、電気製品のより安心安全のため、第三者認証機関によって製品試験及び工場の品質管理の調査が行われています。



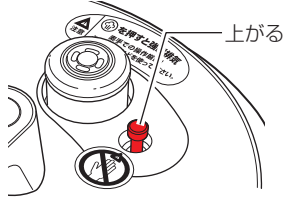
SG マーク

財団法人製品安全協会が定めた認定基準に適合したことを示し、万一製品の欠陥による人身事故が生じた場合、賠償措置がとられます。

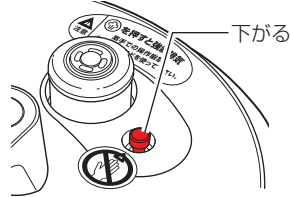
各部のなまえ

浮き圧力弁

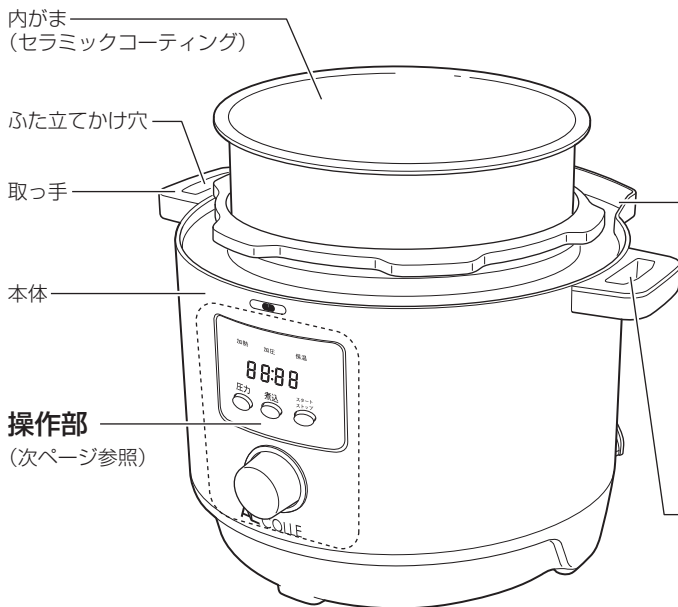
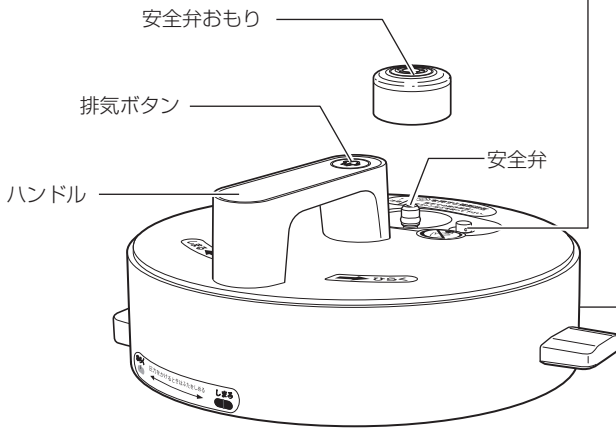
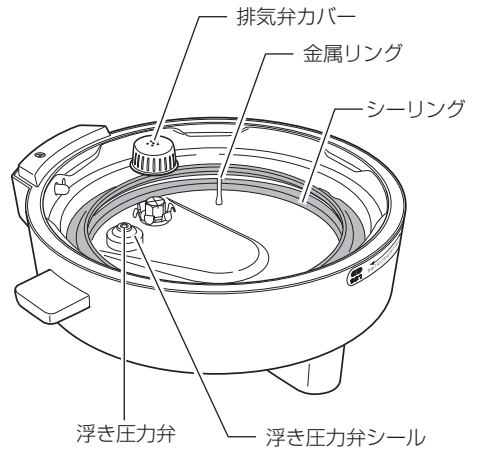
• 圧力が
かかっている場合



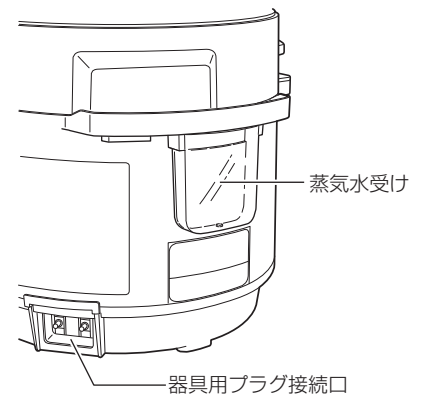
• 圧力が
かかっていない場合



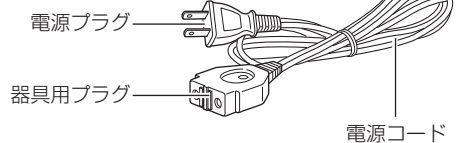
ふた（裏側）



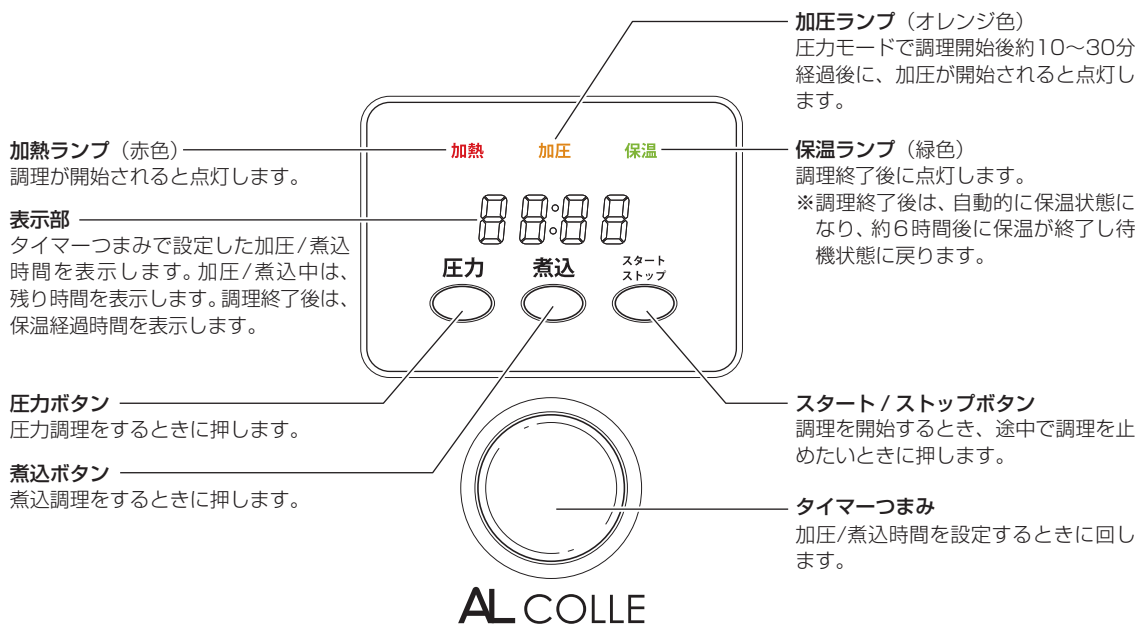
本体背面



ふた立てかけ穴

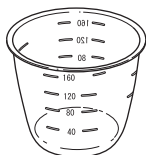


操作部



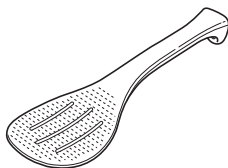
付属品

計量カップ



(約180ml)

しゃもじ



蒸気水受け

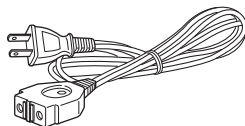


安全弁おもり

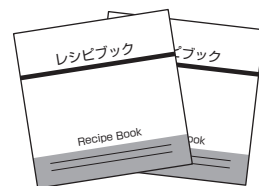


(ふたにセット済み)

電源コード



レシピブック (2種)




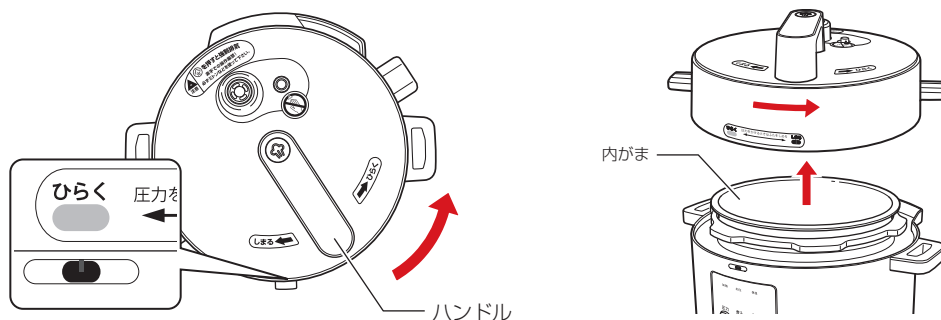
正しい使いかた

圧力モード

- 料理の作りかたや材料の分量については、付属の「レシピブック」をご覧ください。

1 ふたを開けて、内がまを取り出します。

- ふたのハンドルを持って、図の矢印の方向へ回して、ふたの「ひらく」マークと本体の「」マークを合わせ水平に持ち上げてください。
※ふたを開けると「ピッピッ」と鳴ります。(電源コード接続時)

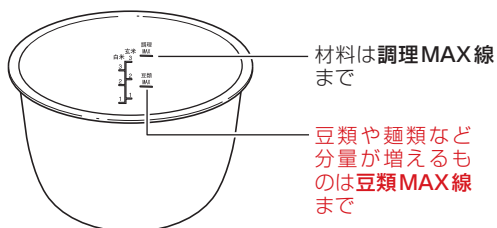


2 内がまに材料を入れ、本体にセットします。

⚠️ 調理容量を守ってください。(豆類・麺類は特に注意してください。)

- 内がまの周囲の水分や異物を拭き取ってください。
- 内がまと本体の間に水や食材をこぼさないように注意してください。
- 内がまとヒータープレートが傾いていないことを確認してください。

調理 MAX 線・豆類 MAX 線を超える食材・調味料・水分の投入は、安全弁や浮き圧力弁部分をふさいで安全装置が動かなくなり、圧力調整ができなくなる可能性があります。



ご注意

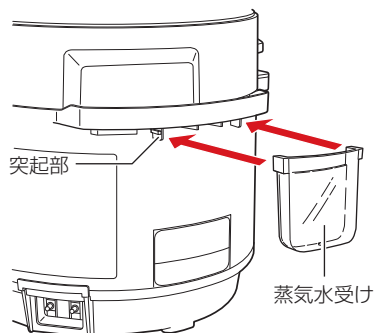
- 多量の油や重曹は使用しないでください。
- カレーやシチューのルーなど、粘性のものは調理後、ふたを開けてから入れてください。

ごはんを美味しく炊くために

- 米は必ず付属の計量カップではかってください。
- 炊きたい米のカップ数の水位目盛に合わせて水を入れてください。水位目盛は目安ですので、米の質・種類によって水加減してください。
※商品の特長として、熱伝導率が良いため、少量のおこげがつく場合があります。少量のおこげは、ごはんを香ばしく炊き上げる役割を果たしています。
※浮き圧力弁が下がってから米飯類を30分以上保温すると、ごはんがばさついたり、かたくなる場合があります。
※内がまで米を洗わないでください(セラミックコーティングを傷める原因になります)。

3 蒸気水受けを本体裏面に取り付けます。



- 本体（裏面）の突起部へはめ込んでください。

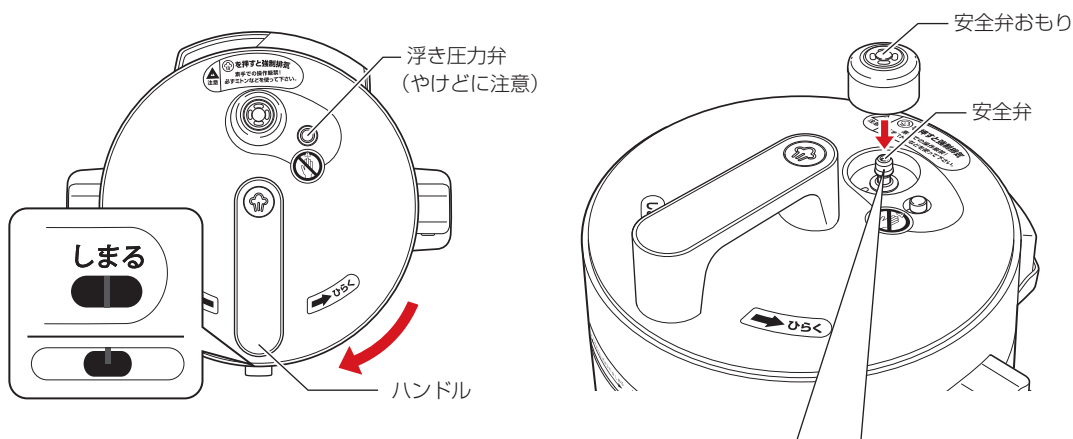


ご注意

- 調理後にふたを開けた際、多量の蒸気水が発生しますので必ず取り付けてください。
 - 続けて調理をおこなう際は溜まった水を一度排水してください。
- 取り付けをしなかった場合、蒸気水がこぼれてやけどや故障の原因になります。

4 ふたを閉めて、安全弁おもりを取り付けます。

- ふたのハンドルを持って、ふたの「ひらく」マークと本体の「」マークを合わせるようにふたを水平に下ろしてください。図の矢印の方向へ回して、ふたの「しまる」マークと本体の「」マークを合わせてください。
- ※ふたを確実に閉めると「ピーッ」と鳴ります。（電源コード接続時）
- おもりは「カチッ」と鳴るまで手のひらで押し付け確実に取り付けてください。

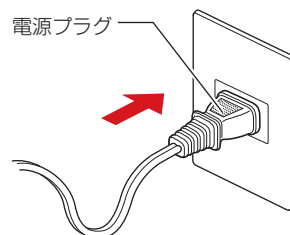
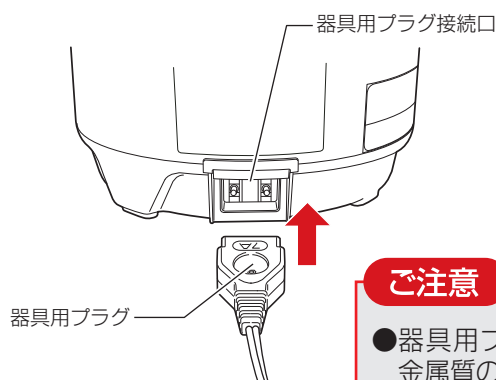


- 安全弁・安全弁おもりに汚れや詰まりがないことを確認してください。
- 汚れ、詰まりがあると圧力調整がうまくいかずに本体の最終的な安全装置が働き、ふたから蒸気が勢いよく噴き出す可能性があります。

正しい使いかた

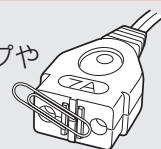
5 電源プラグをコンセントにしっかり差し込みます。

- 器具用プラグを本体の器具用プラグ接続口に接続してから、コンセントに電源プラグを差し込んでください。「ピーッ」と鳴り、すべてのランプが約1秒間点灯し、表示部に「----」が表示されます。



ご注意

- 器具用プラグ (磁石式) の先端にクリップや金属質のものを付着させない。ショート・感電・発火の原因になります。



! 調理を開始する前に必ず以下の項目を確認してください。

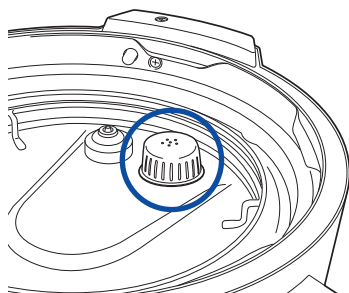
- 正確にセットされていないと、蒸気が漏れてタイマーが動かなかったり、加熱状態が続いて焦げたりする可能性があります。

① ふたの裏のシーリング(シリコン)が正確にセットされていますか?

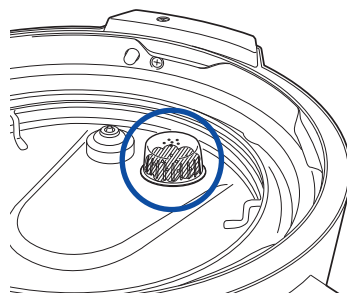
⇒確実にセットしないと、蒸気が漏れる可能性があります。(「シーリングの取り付けかた」21ページ参照)

② ふたの裏の排気弁カバーに食材が残っていませんか?

⇒食材がカバーに詰まると過剰圧となり、危険ですので食材を取り除いてください。(「排気弁カバー」25ページ参照)



良い例(○)




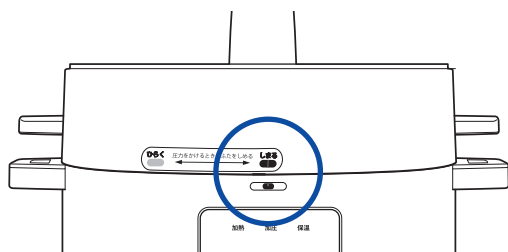
悪い例(× 食材の詰まり)

③ 浮き圧力弁が正確にセットされていますか？

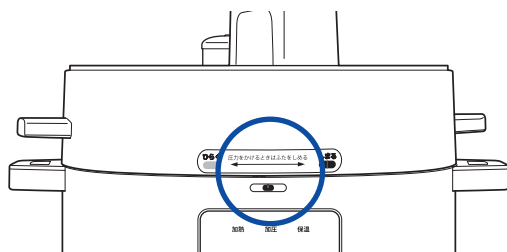
⇒確実にセットしないと、蒸気が漏れる可能性があります。(「浮き圧力弁の取り付けかた」23ページ参照)

④ ふたが確実にセットされていますか。

⇒ふたの「しまる」マークと本体の「」マークが合っていることを確認してください。



良い例(○)





悪い例(×)

⑤ 安全弁おもりが正確にセットされていますか？

⇒おもりが斜めになったりすると、蒸気が漏れる可能性があります。(「安全弁おもりの取り付けかた」22ページ参照)

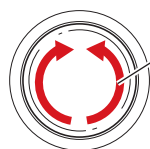
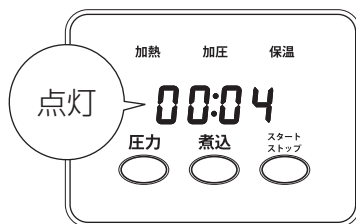
6 圧力ボタンを押し、タイマーつまみを回して、加圧時間を設定します。

- 表示部に設定時間が表示されます。(初期値は「00：10」です。)
- 1分刻みで1分から1時間まで設定できます。

 「- - - -」表示時にスタート/ストップボタンを押すと、保温ランプが点灯し、表示部に「h」と表示され保温状態になります。

安定した保温温度(約70度)に達する時間は、食材の量や種類、水分量、水温、室温によって異なります。

<例> タイマーを4分に設定する場合

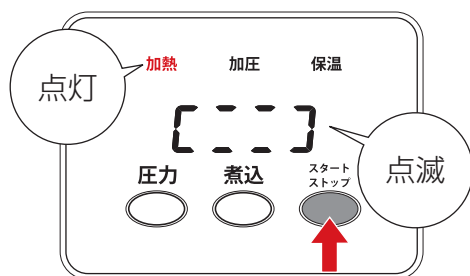


※タイマーつまみは、時計回りに回すと時間が増え、反時計回りに回すと時間が減ります。

正しい使いかた

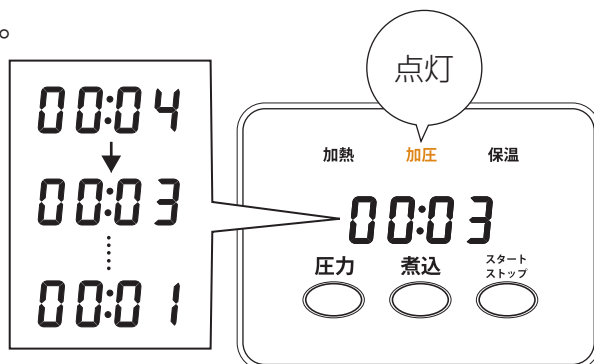
7 スタート/ストップボタンを押します。

- 「ピー」と音が鳴って加熱ランプが点灯し、表示部に「[]」が点滅します。
- 調理（加熱）がスタートします。
※加熱ランプ点灯中は、タイマーは進みません。



- ※ふたが閉まっていない状態でスタート/ストップボタンを押すと、表示部に「E2」と表示され、電子音が「ピッピッピッ…」と繰り返し鳴ります。ふたを確実にセットしてください。
- 途中で調理を止めたいときは、スタート/ストップボタンを押します。
- 途中でふたを開けると「E2」と表示され、「ピッピッピッ」と繰り返し鳴り、調理（加熱）がストップします。ふたを閉めると「ピー」と音が鳴って、調理（加熱）が再開されます。
- 約10～30分経つと加圧ランプが点灯して、加圧がスタートします。

※加圧ランプが点灯した時点からタイマーが働き、表示部の数字が1分刻みで残り時間を表示します。

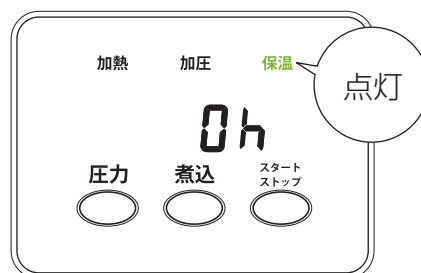


<例>タイマーを4分に設定する場合

- 設定した時間が経過すると、表示部に「0h」と表示され、「ピッ」と5回鳴り、保温ランプが点灯して、減圧をはじめます。

※自動的に保温状態になり、約6時間後に保温が終了し、「ピッ」と5回鳴り待機状態に戻ります。

保温経過時間は、表示部に1時間刻みで表示されます。(1h、2h…6h)

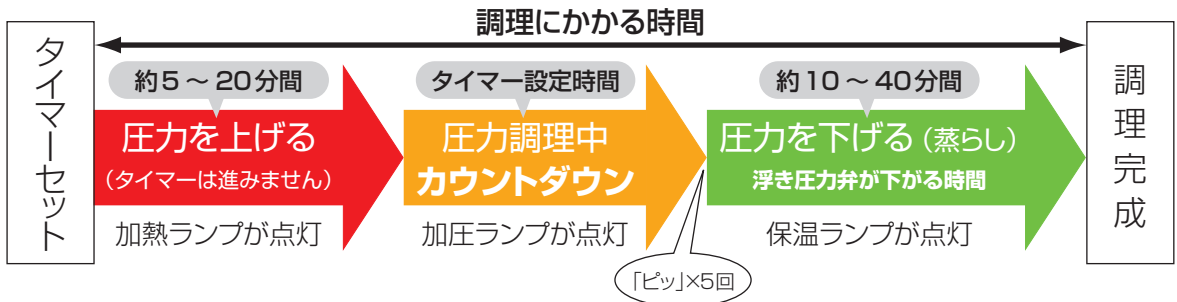


ご注意

- 調理中は振動などで蒸気が勢いよく噴き出すことがあるため、本体を移動させないでください。やけどの原因になります。
- 保温に切り替わっても余熱で圧力がかかっていますので、取り扱いには十分注意してください。

調理時間について

- 調理にかかる時間はタイマーをセットした時間ではありません。タイマーをセットしても圧力が上がるまではカウントダウンしません。また、保温に切り替わった後も余熱でさらに調理が進みます。材料の分量が多いほど調理時間は長くなります。
※食材の量や種類、水分量、水温、室温などによって異なります。



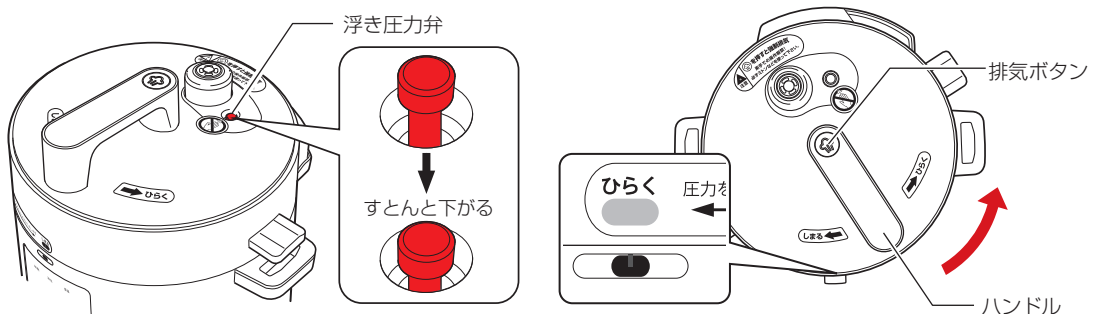
8 浮き圧力弁が下がったら、ふたを開けます。

- ※保温ランプに切り替わった後、浮き圧力弁が下がるまで約10～40分かかります。(食材の量や種類によっては、さらに時間がかかることもあります。)
- ※浮き圧力弁が上がっているとふたは開きません。

ご注意

- 浮き圧力弁が下がっていても内部の圧力が下がりきっていないことがあり、ふたが開かない場合があります。ふたを開ける際は十分注意してください。
- 安全弁おもりから蒸気水が垂れることがありますので、十分注意してください。

- ①排気ボタンを押して、蒸気を排気します。
- ②ハンドルを少し回し、ふたの隙間から蒸気が出ないことを確認してからふたを開けます。
※ハンドルの動きが重く感じられる場合は、内部に圧力が残っていて危険ですので、すぐにふたを開けずにしばらく放置し、ハンドルの動きが軽くなってから開けてください。



正しい使いかた

やむを得ず早くふたを開けたいときは

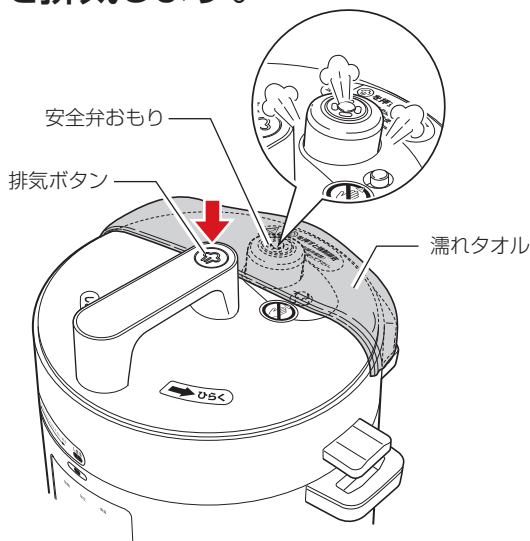
(浮き圧力弁が自然に下がりきる前にふたを開けたいとき)

警告

加圧中は絶対にふたを開けないでください。高温の蒸気が噴き出し、けが・やけどの原因になります。

① 排気ボタンを押して、蒸気(圧力)を排気します。

- 軽く濡らしたタオルを安全弁おもりにあててください。
- **ミトンなどを使ってください。**
- 排気ボタンを押して浮き圧力弁が下がるまで蒸気(圧力)を排気してください。



ご注意

やけどには注意してください。

- 安全弁おもりから蒸気が排気されますので、注意してください。
- 蒸気が勢いよく噴き出すことがあります。

② 浮き圧力弁が下がったら、ふたを開けます。

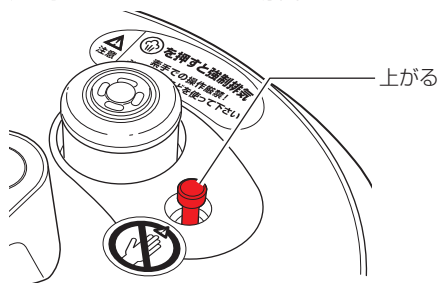
ご注意

ふたをスライドするとき、ふたが重い場合は無理に開けない。

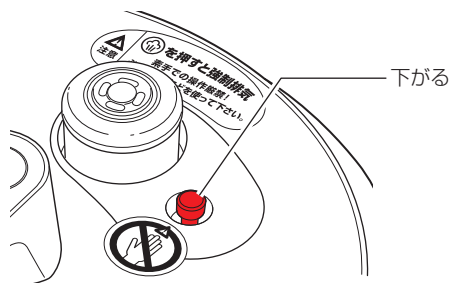
- ふたが重いときは、内部の圧力が完全に排気されていない可能性があります。内部に少しでも圧力が残っていると(浮き圧力弁が下がっていても)、ふたをスライドさせた際にふたが飛んだり内容物が噴出したりして非常に危険です。内容物が噴出すると、高温の内容物が手などにかかり、やけどの原因になります。無理に開けたりせず排気したままの状態ですばらく待ってから再度ふたを開けてください。

【浮き圧力弁】

- 圧力がかかっている場合



- 圧力がかかっていない場合



9 使用後は、スタート/ストップボタンを押してから電源プラグをコンセントから抜きます。

- 必ず電源プラグを持って、コンセントから抜いてください。
- 連続してご使用になる際は電源プラグを抜いて**本体を15分程度冷ましてください**。また、安全弁おもりに詰まりが無いか、安全弁おもりの下に水が残っていないか必ず確認してください。(蒸気漏れの原因になります)

調理を中止するには

- スタート/ストップボタンを押します。

※調理中止後にふたを開けるときは、手順8(12ページ)を参照してください。

保温について


- 浮き圧力弁が下がってから米飯類を30分以上保温すると、ごはんがぱさついたり、かたくなる場合があります。
- 青野菜を長時間保温すると、においや変色の原因になることがあります。

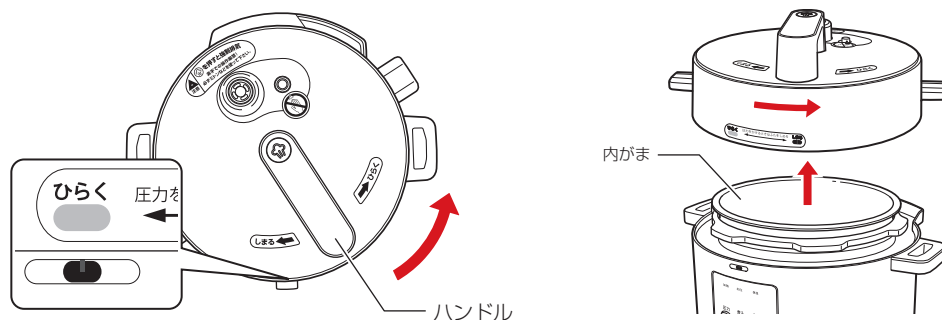
正しい使いかた

煮込モード

- 料理の作りかたや材料の分量については、付属の「レシピブック」をご覧ください。

1 ふたを開けて、内がまを取り出します。

- ふたのハンドルを持って、図の矢印の方向へ回して、ふたの「ひらく」マークと本体の「」マークを合わせ水平に持ち上げてください。
※ふたを開けると「ピッピッ」と鳴ります。(電源コード接続時)



2 内がまに材料を入れ、本体にセットします。

⚠ 調理容量を守ってください。

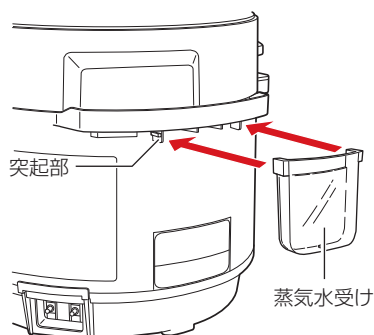
- 内がまの周囲の水分や異物を拭き取ってください。
- 内がまと本体の間に水や食材をこぼさないように注意してください。
- 内がまとヒータープレートが傾いていないことを確認してください。

ご注意

- 多量の油や重曹は使用しないでください。

3 蒸気水受けを本体裏面に取り付けます。

- 本体(裏面)の突起部へはめ込んでください。

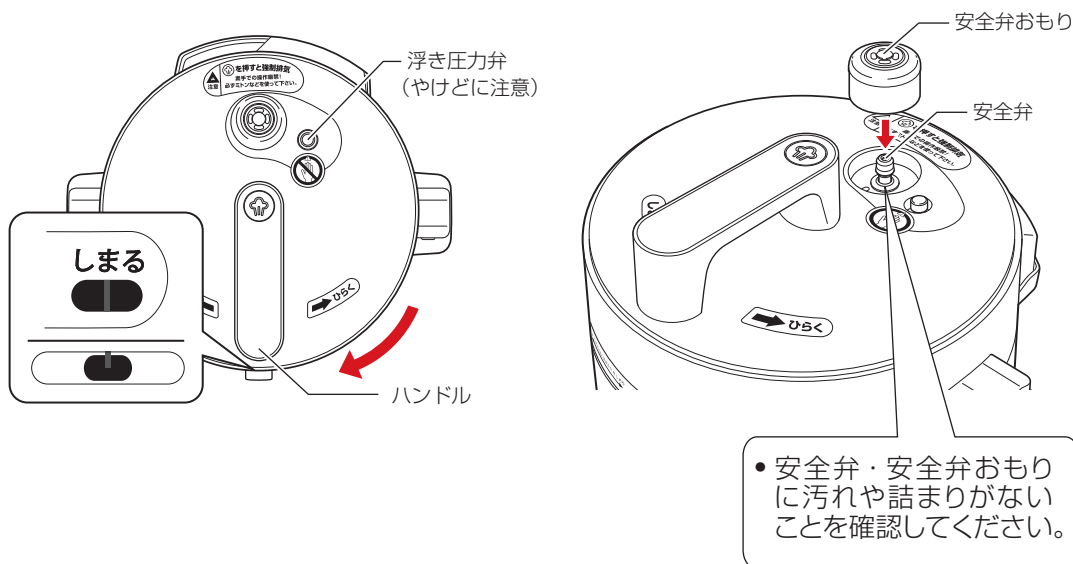


ご注意

- 調理後にふたを開けた際、多量の蒸気水が発生しますので必ず取り付けてください。
- 続けて調理をおこなう際は溜まった水を一度排水してください。
取り付けをしなかった場合、蒸気水がこぼれてやけどや故障の原因になります。

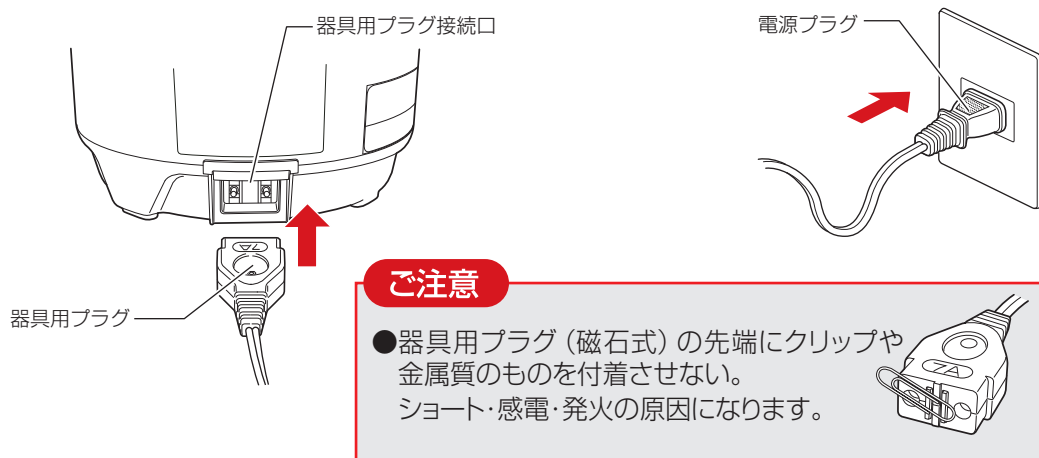
4 ふたを閉めて、安全弁おもりを取り付けます。

- ふたのハンドルを持って、ふたの「ひらく」マークと本体の「●」マークを合わせるようにふたを水平に下ろしてください。図の矢印の方向へ回して、ふたの「しまる」マークと本体の「●」マークを合わせてください。
※ふたを確実に閉めると「ピーツ」と鳴ります。(電源コード接続時)



5 電源プラグをコンセントにしっかり差し込みます。

- 器具用プラグを本体の器具用プラグ接続口に接続してから、コンセントに電源プラグを差し込んでください。「ピーツ」と鳴り、すべてのランプが約1秒間点灯し、表示部に「- - - -」が表示されます。

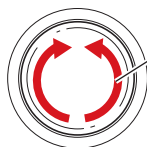


正しい使いかた

6 煮込ボタンを押し、タイマーつまみを回して、煮込み時間を設定します。

- 表示部に設定時間が表示されます。(初期値は「06:00」です。)
- 10分刻みで10分から12時間まで設定できます。
- 安定した温度(約90度)に達する時間は、食材の量や種類、水分量、水温、室温によって異なります。

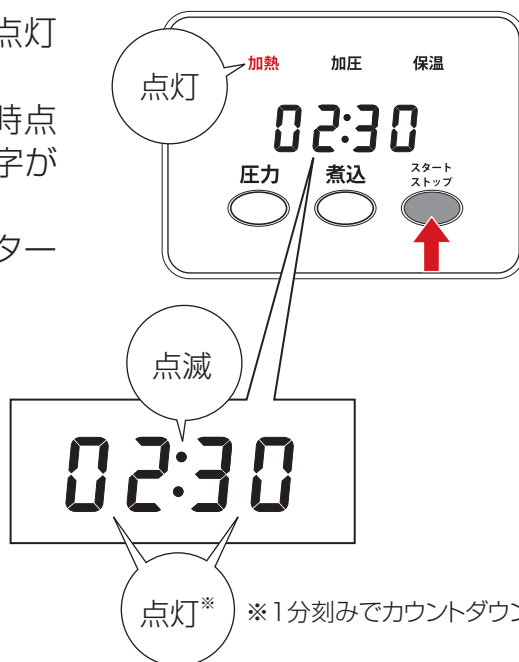
<例> タイマーを2時間30分に設定する場合



※タイマーつまみは、時計回りに回すと時間が増え、反時計回りに回すと時間が減ります。

7 スタート/ストップボタンを押します。

- 「ピー」と音が鳴って加熱ランプが点灯し、調理がスタートします。
- スタート/ストップボタンを押した時点からタイマーが働き、表示部の数字が1分刻みで残り時間を表示します。
- 途中で調理を止めたいときは、スタート/ストップボタンを押します。



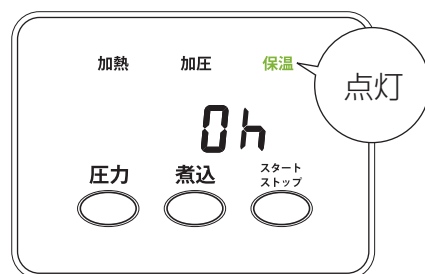
※1分刻みでカウントダウン

- 設定した時間が経過すると、表示部に「0h」と表示され、「ピッ」と5回鳴り、保温ランプが点灯して、調理が終了します。

※自動的に保温状態になり、約6時間後に保温が終了し、「ピッ」と5回鳴り待機状態に戻ります。

保温経過時間は、表示部に1時間刻みで表示されます。

(1h、2h…5h)



ご注意

- 調理中は本体を移動させないでください。やけどの原因になります。

8 調理が終わり、保温に切り替わったら、ふたを開けます。

※万一、ハンドルの動きが重く感じられる場合はすぐにふたを開けずにゆっくりと排気ボタンを押して蒸気を排気し、浮き圧力弁が下がってから開けてください。

ご注意

- やけどには注意してください。
- 安全弁おもりから蒸気が排気されますので、注意してください。
 - 蒸気が勢いよく噴き出すことがあります。

9 使用後は、スタート/ストップボタンを押してから電源プラグをコンセントから抜きます。

- 必ず電源プラグを持って、コンセントから抜いてください。
- 連続してご使用になる際は電源プラグを抜いて**本体を15分程度冷ましてください。**また、安全弁おもりに詰まりが無いが、安全弁おもりの下に水が残っていないか必ず確認してください。(蒸気漏れの原因になります)

調理を中止するには

- スタート/ストップボタンを押します。

保温について

- 青野菜を長時間保温すると、においや変色の原因になることがあります。

お手入れのしかた

❗ 必ず電源プラグをコンセントから抜いて本体を冷ましてから行ってください。

❗ お手入れ後は、各部品を正しく取り付けてください。

- 調理後は必ず下記のお手入れを行ってください。
- **本体の水洗いは絶対にしないでください。**
- シンナーやベンジン、みがき粉などは使用しないでください。変色・サビ・傷の原因になります。
- 本体を含むすべての部品に、食器洗浄器や食器乾燥機は使用しないでください。火災・破損・故障の原因になります。

浮き圧力弁

→23～24 ページ参照

安全弁おもり

→22 ページ参照

安全弁

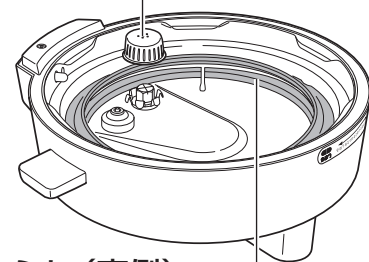
→22 ページ参照

ふた

→20 ページ参照

排気弁カバー

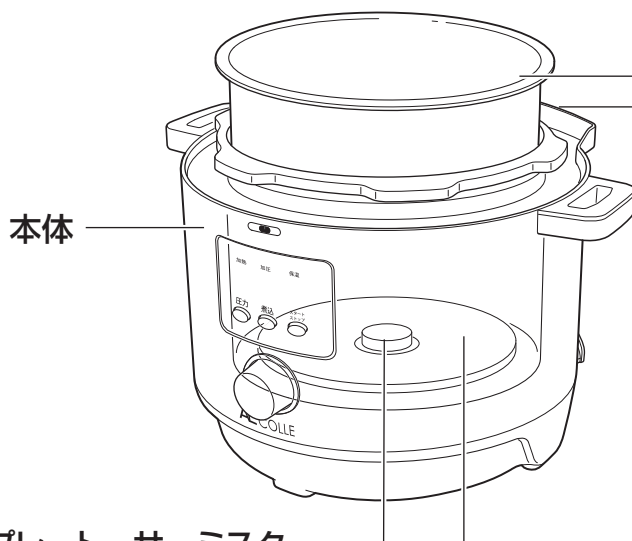
→25 ページ参照



ふた (裏側)

シーリング

→21 ページ参照



内がま

→ 中性洗剤とスポンジで洗い、水をふき取ってください。内がまの底面は使用していく過程でキズが付きませんが、機能上に問題はありません。

蒸気水受け

→25 ページ参照

ヒータープレート・サーミスタ

→ 異物などがこびりついたときは、中性洗剤を含ませたナイロンたわしで軽くみがき、固く絞ったふきんでふいてください。
ヒータープレートの表面は使用していく過程でキズが付きませんが、機能上に問題はありません。

ふた

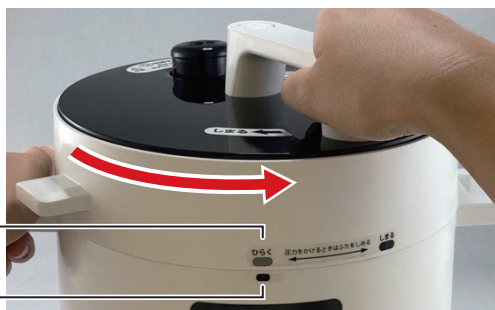
中性洗剤とスポンジで全体の汚れを洗い落としてください。
あらかじめ、安全弁おもりをふたから取り外してください。(22 ページ参照)

取り外しかた

- ①ふたのハンドルを持って、ふたの「ひらく」マークと本体の「」マークを合わせます。

「ひらく」マーク

「」マーク




- ②ふたを水平に持ち上げます。

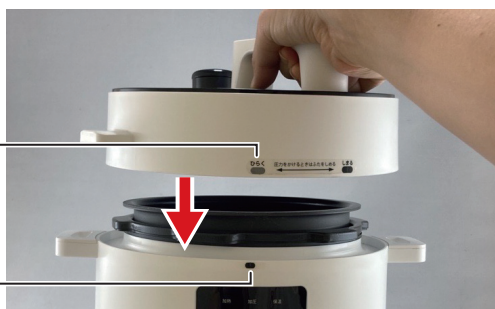
ふた




取り付けかた

- ①ふたのハンドルを持って、ふたの「ひらく」マークと本体の「」マークを合わせるようにふたを水平に下ろします。「ひらく」マーク

「」マーク



- ②ふたの「しまる」マークと本体の「」マークを合わせるようにふたをスライドさせます。

「しまる」マーク

「」マーク



お手入れのしかた

シーリング

金属リングからシーリングを外し、中性洗剤とスポンジで汚れを洗い落としてください。

取り外しかた

シーリングを上向きに引っ張って金属リングから外します。

金属リング

シーリング



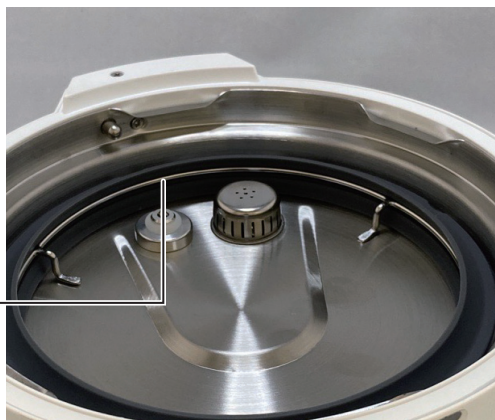
取り付けかた

金属リングにシーリングをはめ込みます。

※取り付けにくい場合は、しゃもじの先端等で押し込んでください。

※取り付けが不十分ですと、ふたが閉めづらくなったり、蒸気が漏れる恐れがあります。

金属リング



良い例 (○)



悪い例 (×)



シーリングがずれている

安全弁・安全弁おもり

※安全弁は取り外せません。ふたのお手入れ時に、汚れを洗い落としてください。

中性洗剤とスポンジで汚れを洗い落としてください。

取り外しかた

ふたを片手で押えながら安全弁おもりをまっすぐ引き抜いてください。



安全弁おもり

取り付けかた

ふたを片手で押えながら安全弁おもりを強く押しはめ込んでください。



安全弁おもりは加圧時に圧力の調整をするためある程度のおそびがあります。

良い例 (○)



悪い例 (×)



斜めになっている



はまっていない



ついていない

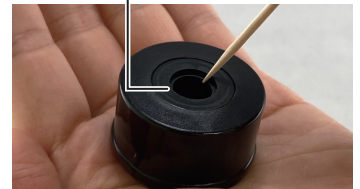
穴詰まり

つまようじなどで異物を取り除いてください。

安全弁



安全弁おもり



黒ずみ汚れ

安全弁の周りや安全弁おもりの内部の汚れは綿棒などで取ってください。



※汚れたまま使用すると、蒸気漏れや加圧に切り替わらないなど、誤作動の原因になります。

お手入れのしかた

浮き圧力弁

中性洗剤とスポンジで汚れを洗い落としてください。

取り外しかた

- ①本体からふたを取り外します。(20ページ参照)
 - ②浮き圧力弁シールを指で抜き取ります。
 - ③浮き圧力弁をふたの表側から取り外します。
- ※浮き圧力弁シールは浮き圧力弁を固定する部品です。お手入れなどの際に、紛失されないように注意してください。

浮き圧力弁シール

浮き圧力弁

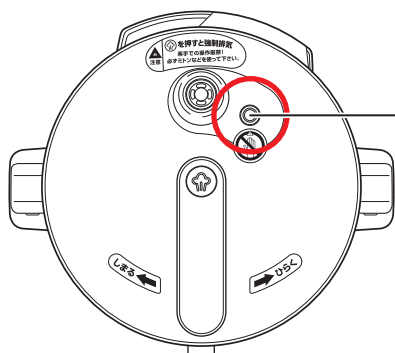
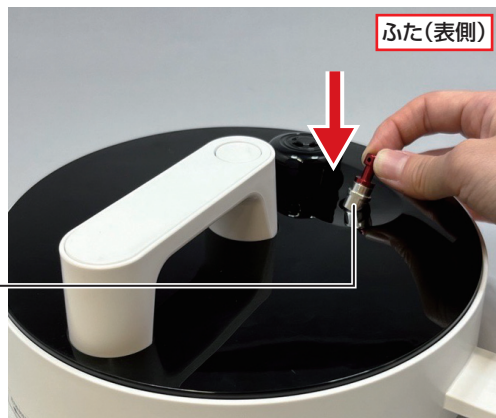


取り付けかた

- ①浮き圧力弁をふたの表側から差し込みます。
※浮き圧力弁の向きに注意してください。
(赤い方が上側になるように入れてください。)

浮き圧力弁

浮き圧力弁を
差し込む部分

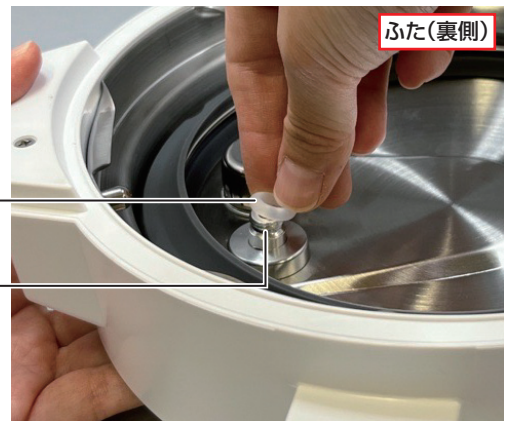


ふた(表側)

②ふたの裏側に突き出た浮き圧力弁のくぼみに、
浮き圧力弁シールをはめ込みます。

浮き圧力弁シール

浮き圧力弁



※取り付けが不十分ですと、蒸気が漏れる恐れ
があります。

※ふたの裏側から、浮き圧力弁をつまんで数回
上下に動かし、引っ掛かりなどが無いことを確
認してください。

確認時に無理な力を加えて、浮き圧力弁シー
ルが外れないように注意してください。

良い例 (○)



お手入れのしかた

排気弁カバー

中性洗剤とスポンジで汚れを洗い落としてください。

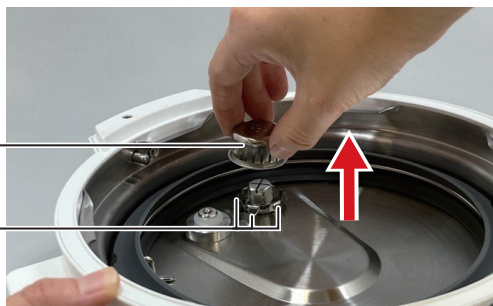
あらかじめ、ふたを本体から取り外してください。(20 ページ参照)

取り外しかた

ふたを片手でささえ、排気弁カバーを少しひねるようにして上に引き抜きます。

排気弁カバー

板ばね



取り付けかた

ふたを片手でささえ、排気弁カバーを板ばねに合わせながらはめ込みます。



蒸気水受け

異物を取り除いて中性洗剤とスポンジで汚れを洗い落としてください。

取り外しかた

蒸気水受けを図の矢印の方向へ引き抜きます。

蒸気水受け




取り付けかた

蒸気水受けを図の矢印の方向へ奥まではめ込みます。



故障かな?と思ったら

こんなときは?	確認してください!!
スタート/ストップボタンを押しても動かない	・電源プラグや器具用プラグが抜けていませんか?
蒸気が漏れる	<ul style="list-style-type: none"> ・浮き圧力弁・ふた裏側の浮き圧力弁シールが正しく取り付けられていますか? (23 ~ 24 ページ参照) →紛失された場合は裏表紙に記載の「お客様サービス窓口・修理受付」までご連絡ください。 ・シーリングが正しく取り付けられていますか? (21 ページ参照) ・内がま・シーリング・排気弁カバーに異物がついていませんか? ・内がまに歪みなどの変形はありませんか? →内がまは消耗品ですので、新しくお買い求めください。 裏表紙に記載の「お客様サービス窓口・修理受付」までご連絡ください。 ・安全弁おもりが正しく取り付けられていますか? →安全弁おもりの取り付けを確認してください。(22 ページ参照)
煮汁と蒸気が噴き出す	<ul style="list-style-type: none"> ・調理材料(水・調味料・調味液含む)の量が多すぎませんか? ・安全弁おもりが正しく取り付けられていますか? →安全弁おもりの取り付けを確認してください。(22 ページ参照)
調理が上手にできない (生煮え、煮えすぎ、焦げるなど)	<ul style="list-style-type: none"> ・タイマーの時間設定を間違えていませんか? ・水や調味液の量を間違えていませんか? ・調味料はあらかじめ溶かしてから入れましたか? ・煮込モード使用時にふたをして調理していますか? →ふたを使用してください。 ・連続使用していませんか? →連続してご使用になる際は電源プラグを抜いて本体を15分程度冷ましてください(18 ページ参照)
タイマーが動かない	<ul style="list-style-type: none"> ・加熱ランプが点灯していませんか? →圧力モード使用時、加熱ランプ点灯中(加熱中)はタイマーは進みません。 ・蒸気が漏れていませんか? →蒸気漏れがあると加圧ができずタイマーが進みません。 このページの「蒸気が漏れる」の項目を参照してください。
操作部の時間表示窓に 「E0」「E1」「E2」が表示される	<ul style="list-style-type: none"> ・「E0」「E1」: センサーの不具合が考えられます。 →本体が冷めても正常に戻らない場合は、裏表紙に記載の「お客様サービス窓口・修理受付」までご連絡ください。 ・「E2」: ふたが確実にセットされていますか? →ふたの「しまる」マークと本体の「」マークが合っていることを確認してください。(8 ページ参照)
ふたがスムーズに 閉まらない・ロックできない	・シーリングが正しく取り付けられていますか? (21 ページ参照)
ふたが開かない/ 浮き圧力弁が下がらない	<ul style="list-style-type: none"> ・調理終了から十分に時間が経っていますか? ※食材の量によっては保温に切り替わってから浮き圧力弁が下がるまで40分以上かかる場合もあります。

アフターサービスについて

1. 保証書

- 保証書は、本書の裏面に添付されています。（※本書から切り離さないでください）
- 保証書はお買い上げの販売店で「お買い上げ日」と「販売店」欄の記入をご確認のうえ、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
- 保証期間はお買い上げ日より1年間です。


2. 修理を依頼されるとき

- **保証期間内**
商品に本書（保証書）を添えて、お買い上げの販売店または「お客様サービス窓口・修理受付」にご連絡ください。保証の記載内容により、無料で修理いたします。
- **保証期間が過ぎている**
お買い上げの販売店または「お客様サービス窓口・修理受付」にご相談ください。修理によって使用できる場合には、お客様のご要望により、有料で修理いたします。

3. 補修用性能部品の保有期間

- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
- 「電気圧力鍋」の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後6年です。

4. 長年愛用された製品の点検（★長年ご使用の電気圧力鍋の点検を！）

愛情点検	ご使用の際に、この様な症状がありませんか？	
	<ul style="list-style-type: none">● プラグや電源コードが異常に熱い。● 電源コードに深いキズや変形がある。● コゲくさい臭いがする。● その他の異常、故障がある。	<p>一つでも該当する場合には →</p> <p>故障や事故防止のため、電源を切ってプラグをコンセントから抜き、必ず販売店または「お客様サービス窓口・修理受付」にご相談ください。</p>

以上、アフターサービスについてのご不明の点がございましたら、お買い上げの販売店または「お客様サービス窓口・修理受付」までお問い合わせください。

個人情報のお取り扱いについて

お受けしましたお客様の個人情報は、当社個人情報保護方針に基づき、適切に管理いたします。また、お客様の同意がない限り、業務委託をする場合および法令に基づき必要と判断される場合を除き、第三者への開示は行ないません。

〈利用目的〉

お受けしました個人情報は、商品・サービスに関わるご相談/お問い合わせおよび修理対応のみを目的として使用させていただきます。

なお、この目的のためにアルファックス・コイズミ株式会社および関係会社で上記の個人情報を利用することがあります。

〈業務委託の場合〉

上記目的の範囲内で対応業務を委託する場合、委託先に対しては当社と同等の個人情報保護を実施させるとともに、適切な管理/監督をいたします。

別売品について

- 別売品のお求めは、お買い上げの販売店または「お客様サービス窓口・修理受付」にお問い合わせください。

別売品は弊社ホームページ（二次元コード）でもお買い求めいただけます。

- ・ 掲載サイトの閲覧は無料ですが、通信料金はお客様のご負担となります。（パケット定額サービスに未加入の場合、高額になる可能性があります。）
- ・ お使いのスマートフォン等により、正しく表示されない場合があります。



<p>内がま</p>		<p>ふた一式 （シーリング/ 安全弁おもり/ 浮き圧力弁付き）</p>	
<p>安全弁 おもり</p>		<p>シーリング</p>	
<p>電源コード</p>		<p>浮き圧力弁 （浮き圧力弁シール付き）</p>	
<p>レシピブック （2種）</p>			

- 内がまのセラミックコーティングは消耗しますので、定期的な交換をお勧めします。

MEMO

A large, empty rectangular box with rounded corners, intended for writing a memo. The box is outlined in black and occupies most of the page below the title.

MEMO

A large, empty rectangular box with rounded corners, intended for writing a memo. The box is outlined in black and occupies most of the page below the title.

【保証・無料修理規定】

1. 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った正常な使用状態で保証期間内に故障した場合、無料修理致します。
2. 保証期間内に故障して無料修理をお受けになる場合には、商品と本書をご準備の上、お買い上げの販売店にご依頼ください。
3. ご転居、ご贈答品等で本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼できない場合には、アルファックス・コイズミ株式会社にお問い合わせください。
4. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
 - (イ) 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷。
 - (ロ) お買い上げ後の落下等による故障及び損傷。
 - (ハ) 火災、地震、落雷、水害、その他の天災地変、異常電圧による故障及び損傷。
 - (ニ) 一般家庭用以外（例えば業務用の長時間使用、車両、船舶への搭載）に使用された場合の故障及び損傷。
 - (ホ) 本書のご提示がない場合。
 - (ヘ) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えた場合。
 - (ト) 譲渡、転売、リサイクル店（中古品）、中古販売店、オークション等により入手された場合。
5. 保証期間内でも商品を修理窓口へ送付された場合の送料はお客様の負担となります。
6. 出張修理は行っておりません。
7. 本書は日本国内においてのみ有効です。日本国外からの修理依頼や補修用部品・消耗部品の発送依頼には対応しておりません。
Effective only in Japan. We do not offer repair service or dispatch maintenance parts or consumables internationally.
8. 本書は再発行致しませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

修理メモ

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
※保証期間経過後の修理につきましては、お買い上げの販売店、または、アルファックス・コイズミ株式会社にお問い合わせください。

電気圧力鍋 APC-T120 保証書

本書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。
お買い上げの日から、下記期間中故障が発生した場合は、本書をご提示の上、お買い上げの販売店に修理をご依頼してください。

品名／型番		電気圧力鍋 / APC-T120		
お買い上げ年月日 *		年	月	日
無料修理 保証期間	対象部分	期間（お買い上げ日より）		
	本体	1年		
お客様	お名前 *	様	*	販売店
	ご住所 *			
	TEL ()			

★印欄に記入のない場合は無効となりますので、必ずご確認ください。

販売店の皆様へのご願い

必ず全項目をご記入、ご捺印の上、お客様にお渡しください。

お客様サービス窓口・修理受付

この商品に関するご意見・ご質問については下記へお寄せください。

【お客様サービス窓口】 ☎ **0120-115-224** 〒340-0034 埼玉県草加市氷川町2179-17

電話受付時間：平日9:00～17:00（土・日・祝日・夏期休暇・年末年始を除く）

※修理を依頼されるときは、お買い上げの販売店または「お客様サービス窓口・修理受付」に事前にご連絡ください。

※弊社への直接の返品はお受けしておりませんので、あらかじめご了承ください。返品につきましては、お買い上げの販売店にご相談ください。

アルファックス・コイズミ株式会社

<https://www.alphax.jp/>